

(一社)世界文化遺産地域連携会議 令和元年度総会

- 1 開会ご挨拶
- 2 出席者ならびに新メンバーのご紹介
- 3 (議案1)組織体制の変更
- 4 (議案2)平成30年度事業報告
- 5 (議案3)平成30年度決算
- 6 (議案4)令和元年度事業計画
- 7 (議案5)令和元年度予算
- 8 意見・情報交換

(交流会:三彩の間17:40ー)

令和元年8月19日 16:00ー17:30
霞山会館

出席者（8月15日現在：敬称略）

世界遺産名等	氏名	所属	要望	総会	交流会	会役職等
	松浦晃一郎	元・ユネスコ事務局長	—	○	×	顧問
自民党	鶴保 庸介	観光立国推進会議事務局長	—	○		来 賓
文化庁	石田 徹	文化戦略官	—	○		来 賓
観光庁	山田亜紀子	地域資源活用推進室長	—	○		来 賓
平 泉	青木 幸保	平泉町長	○	○	×	理 事
富岡・絹産業遺産群	榎本 義法	富岡市長	○	○	○	理 事
富士山	須藤 秀忠	富士宮市長	○	○	○	理 事
白川郷・五箇山	田中 幹夫 成原 茂	南砺市長 白川村長	○ ○	○ ○	× ×	理 事 理 事
古都京都	門川 大作	京都市長	○	○	○	代表理事
法隆寺	中西 和夫	斑鳩町長	○	○	○	副代表理事
潜伏キリシタン	黒田 成彦	平戸市長	○	○	○	
兵 庫	井戸 智樹	（一社）地域連携研究所	○	○	○	理 事
東 京	大社 充	DMO 推進機構代表理事	—	○	○	理 事
群 馬	熊倉 浩靖	高崎商科大学特任教授	—	○	○	理 事
東 京	島川 崇	東洋大学教授	—	○	○	理 事
東 京	藤本 貴也	全国街道交流会議代表理事	—	○	△	理 事
東 京	寺田 昭一	PHP 研究所 公共シニアコンサルタント	—	○	○	監 事
日 光	田中 宏充	日光市観光経済部長	×	○	○	代 理
富岡・絹産業遺産群	塚本 良 大小原敏江	藤岡市教育部長 下仁田町教育課長	○ ○	○ ○	× ×	〃 〃
国立西洋美術館	河井 卓治	東京都台東区 国際・都市交流推進室長	×	○	×	〃
富士山	岡村 渉 八木 幸次	静岡市文化財課長 裾野市生涯学習課係長	× ×	○ ○	× ×	〃 〃
古都奈良	立石 堅志	奈良市教育部次長	○	○	×	〃
紀伊山地	古久保宏幸	田辺市観光振興課長	○	○	○	〃
姫路城	和田 達也	姫路市観光交流局長	×	○	○	〃

原爆ドーム	松尾久美子	広島市東京事務所主査	×	○	×	代 理
明治日本の 産業革命遺 産	森 一 欽	釜石市世界遺産課長補佐	×	○	△	〃
	小森 茂	伊豆の国市教育部参与	×	○	×	〃
	香川 信善	萩市観光政策部長	×	○	○	〃
	股張 一男	長崎市文化観光部長	×	○	×	〃
	片平 雅人	鹿児島市世界遺産・ジオ パーク主任		○	×	〃
宗像・沖ノ島	飯野 英明	宗像市世界遺産課長	×	○	×	〃
潜伏キリシ タン	股張 一男	長崎市文化観光部長	×	○	×	〃
	末永 透	南島原市世界遺産推進室	×	○	○	〃
	伏原 朋宏	長 佐世保市東京事務所長	×	○	○	〃
百舌鳥古市	勝真 雅之	堺市世界遺産推進室長	×	○	×	オファサー バー
東 京	糸永 正之	アラスカ大フェアbanks校特別顧 問	—	○	○	社 員
東 京	植木 孝	ダイヤモンド・ビック社メディア・ マーケティング事業本部副本部 長、インバウンドメディア担当	—	○	○	〃
栃 木	岡井 健	NPO日光門前まちづく り 理事長	—	○	○	〃
東 京	澤田 利彦	松蔭大学学長補佐・観光 メディア文化学部教授	—	○	○	〃
京 都	下尾 修	京都新聞東京支社長	—	○	○	代 理
東 京	須藤 元	ジェイキャスト顧問	—	○	○	社 員
奈 良	辰巳 裕	奈良好き人の会理事長	—	○	○	〃
東 京	谷 博子	元 JNTO ソウル事務所長	—	○	○	〃
東 京	野々村邦夫	日本地図センター理事長	—	○	○	〃
東 京	吉田 知加	フォーリンプレスセンタ ー 広報戦略課長	—	○	○	代 理
東 京	吉永 憲	共同ピーアール	—	○	×	〃
観光庁			—			随 行
平泉町	千葉 登	世界遺産推進室長	○	○	×	〃
日光市	佐藤 正人	観光交流課長	×	○	○	〃
	沼尾 政明	観光交流課補佐	×	○	○	〃
富岡市	田嶋 伸彰	富岡製糸場課長	○	○	○	〃
下仁田町	神戸 領栄	文化財係長	○	○	×	〃

富士宮市	深谷 一彦 池田 浩樹	富士山世界遺産課長 〃 主査	○ ○	○ ○	○ ○	随 行 〃
南砺市	比尾 治和	ブランド戦略部次長	○	○	×	〃
京都市	西山 真司 中川 慶太 藪田 哲司	文化財担当部長 文化財保護課長 観光おもてなし課長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	〃 〃 〃
斑鳩町	本庄 徳光 柳井孝一朗	まちづくり政策課長 〃 課長補佐	○ ○	○ ○	○ ○	〃 〃
姫路市	大山 嘉文	観光企画課長	○	○	×	〃
伊豆の国市	林 亮介	文化財課主査	○	○	×	〃
長崎市	中道 大介	世界遺産室長	×	○	×	〃
平戸市	植野 健治	文化交流課係長	○	○	×	〃
人数計			27	66	36	

新メンバーのご紹介(平成30年度総会以降)

黒田 成彦 (平戸市長)
松本 政博 (南島原市長)
朝長 則男 (佐世保市長)
野口市太郎 (五島市長)
中村 五木 (天草市長)

(議案1)組織体制の変更

- 1 理事 黒田 成彦 (平戸市長) 松本 政博 (南島原市長)
朝長 則男 (佐世保市長) 野口市太郎 (五島市長)
中村 五木 (天草市長)

2 事務局所在地の変更

(旧)530-0005

大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル7階 歴史街道推進協議会内

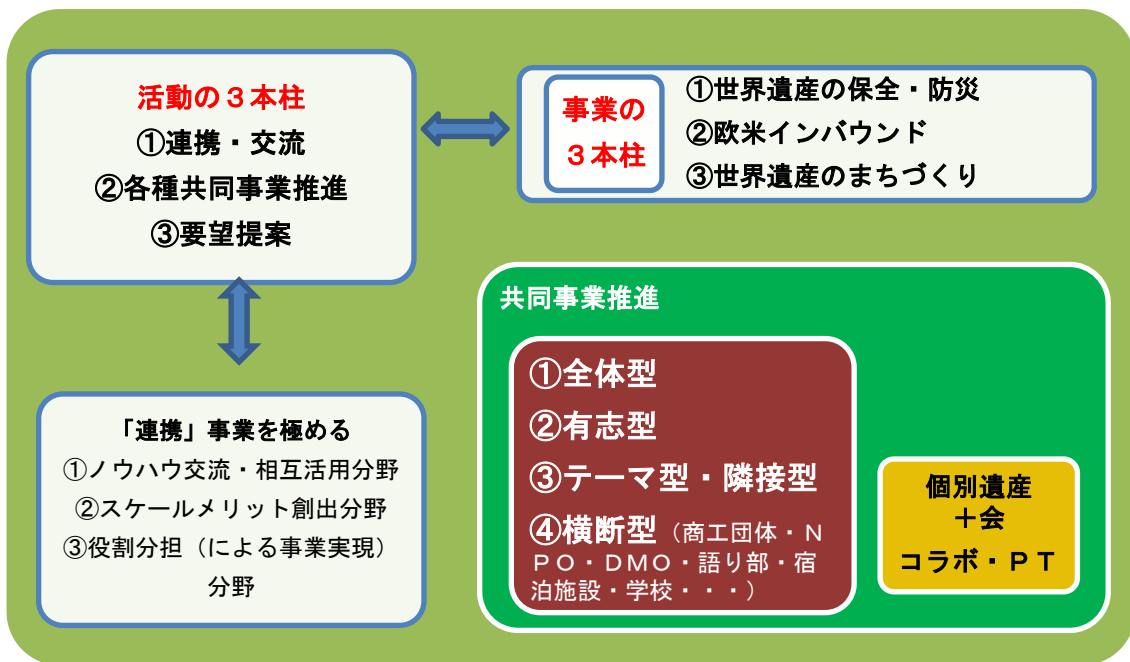
(新)604-8006

京都市中京区河原町御池下ル YJKビル2階 京都市文化財保護課内

(議案2)平成30年度 事業報告

1 当面のレベルアップの方向性

(1) 連携・交流の深化



⇒全体事業に加え、できれば全遺産と会で何らかの共同事業を！

(2) 3つの課題

①東京オリ・パラへの対応

②ロビー機能の強化

⇒「世界遺産議連」ほかとのさらなる連携、
日常的ロビー活動の必要性

③活動財源の確保

429万円（2016年決算額）
1666万円（2017年・同）
3466万円（2018年・同）

2 意見・ノウハウの交換

(1)「世界遺産サミット」の開催

第5回:姫路(2018年11月21・22日)

世界遺産サミットin姫路	
1	日程 平成30年(2018年)11月21日(水)・22日(木)
2	場所 イーグレひめじ(あいめっせホール・会議室)、日本城郭研究センター、姫路文学館
3	プログラム
(1)	11月21日(水)
	13:00 エクスカーションⅠ(姫路城)
	15:30-17:30
	第1分科会(保全):平泉町・京都市・姫路市・平戸市・今帰仁村
	第2分科会(西日本連携・インバウンド):広島市・廿日市市・大田市・萩市・姫路市
	第3分科会(まちづくり・地域経済):岡井健(NPO日光門前まちづくり理事長)芦澤英治 (富士宮市副市長)上村大平(斑鳩町商工会事務局長)多田稔子(田辺市熊野TB会長)
	久遠裕子(軍艦島デジタルミュージアム統括プロデューサー)、
	18:00 担当者会議
	19:00 エクスカーションⅡ(姫路城夜間公開イベント)
(2)	11月22日(木)
	8:30-11:30 エクスカーションⅢ・Ⅳ(書写山圓教寺・船場城西地区)
	13:00-17:00 サミット本会議
	学生等事例発表・来賓挨拶
	基調講演:門川会長(会と京都での取り組み)原田静織(ランドリーム代表取締役)
	分科会発表
	首長会議
	サミット宣言採択 次回開催地挨拶(日光市)
4	主催 姫路市、(公社)日本観光振興協会、(一社)世界文化遺産地域連携会議
後援	観光庁、文化庁、林野庁、環境省

(2)メーリングリストの継続

山内管理人(今帰仁グスクを学ぶ会事務局長)を中心に通算約750回の利用

(3)総会・交流会(8月6日)、地域交流会等の開催

3 要望活動(8月6日)

時間	訪問先	場所
14:00-14:15	世界遺産議員連盟顧問 河村建夫 衆議院議員	衆議院第二議員会館 302号室
14:30-14:45	国土交通省 森 昌文 事務次官	国土交通省事務次官 室
15:00-15:15	観光庁 和田浩一 次長	観光庁
15:30-15:40	文化庁 中岡 司次長	文化庁

その他

自民党：萩生田幹事長代行（11月2日）、鶴保参議院議員（11月22日）

観光立国推進会議（3月31日）

世界遺産議連：福山哲郎副会長（10月18日ほか）

文化庁：日本博事務局（8月17日ほか）文化財資源活用課長（11月2日ほか）

国交省：藤田審議官（10月19日）

観光庁：観光地域振興部長（11月6日）、観光資源課長（10月18日ほか）、観光地域振興課長（9月25日ほか）、国際観光課長（11月6日）

政府委員：デビッド・アトキンソン氏（10月15日）

4 遺産ごとの課題解消

(1)斑鳩PT

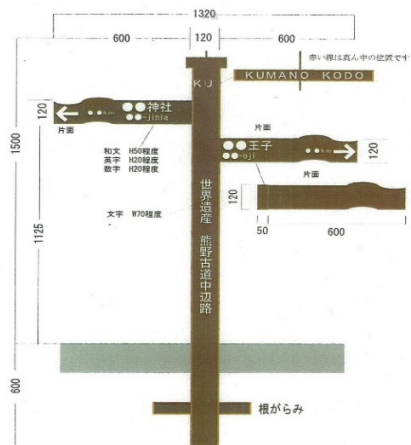
- ① 外国語資料の作成
- ② 聖徳太子絵本(ガイドブック)の作成
- ③ 東京における連続フォーラム

日程	会場	講師
8月18日	日比谷情報図書館	井ノ上妙康（法輪寺住職）
10月20日	朝日JTB・交流文化塾	大野玄妙（法隆寺管長）
11月17日	日比谷情報図書館	横田丈実（浄念寺住職・映画監督）
1月19日	日比谷情報図書館	坪岡徹（わたしだけの斑鳩時間・デザイナー）
2月16日	日本橋社会教育会館ホール	小川三夫（鰯工舎宮大工棟梁）

<https://m.youtube.com/channel/UC8O9E-q522tUjBtTmoA1M9w/videos>

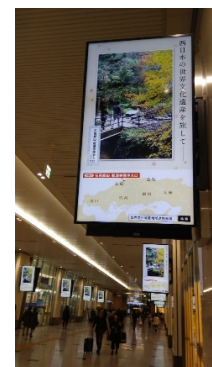
(2) 紀伊山地の霊場と参詣道PT

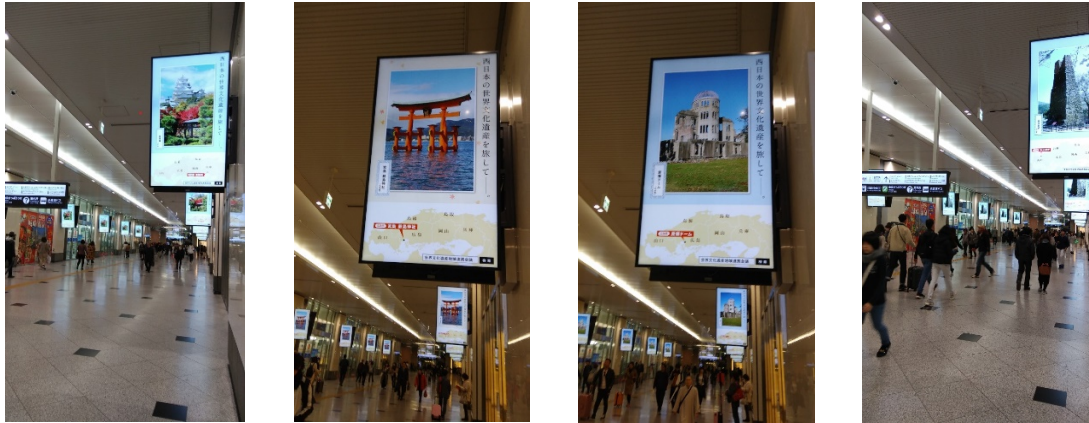
- ① 姉妹遺産である「サンチアゴ・デ・コンポステーラ」とコラボし、スペインにて「紀伊山地の霊場と参詣道」セミナー
- ② 昨年度実施の「紀伊山地の霊場と参詣道」東京シンポジウム内容を10言語翻訳
<http://worldheritagejpn.com/wch/kii/index.html> (仮アップ)
- ③ 外国語ガイドブック・MAP等の増補(熊野古道小辺路・高野山関係)
- ④ 紀伊半島全域の(世界遺産指定)「参詣道」における外国表示不足箇所の調査



(3) 石見銀山PT

- ① 外国語資料の作成
- ② JR大阪駅等のデジタルサイネージにおける「西日本の世界遺産」
(石見銀山・原爆ドーム・厳島神社・萩・姫路城)連携広告





5 情報発信

- (1) HP (11言語) www.worldheritagejpn.com/
- (2) パンフレット (4言語: 各地の海外事業での相互配布用)
- (3) 各メディア、記者クラブなどへの対応

- (4) 世界遺産リレー催事関係の調整・情報収集

中間報告会: 11月21日

日光: 5月24日・1月31日 (日光市)

富岡: 7月29日 (富岡市長)

国立西洋美術館: 5月23日 (台東区)

富士山: 8月16日 (静岡市長・静岡県)

白川郷五箇山: 10月22日 (白川村長)

古都京都: 7月10日 (京都市長) 10月26日ほか (京都市) 木村氏 (10月19日)

古都奈良: 8月24日 (奈良市観光協会長) 10月16日 (奈良市) 11月7日 (奈良県)

法隆寺: 8月30日 (法隆寺) 10月16日 (斑鳩町)

紀伊山地の霊場と参詣道: 11月13-15日 (尾鷲市・熊野市・熊野速玉大社・
那智勝浦町・田辺市)

姫路城: 8月28日 (姫路市)

原爆ドーム: 8月21日 (広島市)

厳島神社: 8月21日 (廿日市市)

石見銀山: 10月9日 (大田市長)

明治日本の産業革命遺産: 国民会議 (9月25日・11月1日) 萩市 (10月9日)

宗像: 9月20日 (宗像市)

潜伏キリシタン: 8月19日・9月19日 (長崎県市ほか) 9月18日 (平戸市)
9月20日 (天草市)

(議案3)「世界文化遺産」地域連携会議 平成30年度決算報告

1 収入の部(単位・円)

項目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	備考
① 市町村長 会費	1,150,000	1,110,000	1,140,000	・納入遅れ2市町、予算措置ができなかった2村有 ・「潜伏キリシタン」関係市町村の平成30年会費は免除
② 事業収入 ・紀伊山地 PT ・石見銀山 PT ・斑鳩 PT	26,637,000 (15,670,000) (3,002,000) (7,965,000)	28,547,000 (17,653,000) (3,002,000) (7,892,000)	9,825,313 (9,825,313) (0) (0)	・文化庁「世界遺産活性化」事業 ・支出の部5に対応
③ 交流会費	240,000	288,000	330,000	・1回開催(東京) ・支出の部2の一部に対応
④ 寄付金	0	0	2,549,285	
⑤ 利息	0	31	20	
⑥ 繰越金	4,710,577	4,710,577	2,812,645	
収入計	32,737,577	34,655,608	16,657,263	

2 支出の部

項目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	備考
1 要望活動費	200,000	147,524	182,606	冊子作成、ハイヤー代等 (収入の部①に対応)
2 会議費	750,000	817,081	884,900	総会・交流会・諸会合の合計。交流会費の大部分は収入の部③に対応
3 イベント費	200,000	311,172	217,601	世界遺産サミット支援等 (収入の部①④⑥に対応)

4 広報費	2,000,000	154,782	171,994	(収入の部①④⑥に対応)
・HP	(1,500,000)	(7,642)	(7,642)	HP改訂・プロバイダ料
・その他	(500,000)	(147,140)	(164,352)	セミナー等
5事業推進費	26,637,000	28,666,592	9,825,313	(収入の部②⑥に対応)
(紀伊PT)	(15,670,000)	(17,653,000)	(9,825,313)	翻訳・ガイドブック・標識等
(大田PT)	(3,002,000)	(3,002,000)	(0)	大阪駅西日本連携広告等
(斑鳩PT)	(7,965,000)	(7,892,000)	(0)	外国語冊子。東京セミナー
(事業推進費)	(0)	(119,592)	(0)	国予算対応不能分(⑥)
6調査研究費	20,000	19,600	9,150	書籍・入場料等(①④⑥)
7旅費交通費	550,000	751,640	523,436	(同)
8通信費	40,000	129,196	42,650	(収入の部①に対応)
9消耗品費	20,000	298,032	76,076	パソコン、整理棚購入,コピー代、文具等(同)
10事務雑費	150,000	176,828	12,960	法人格取得関係など(同)
支出合計	30,567,000	31,472,447	11,946,686	
次年度繰越金	2,170,577	3,183,161	4,710,577	
総計	32,737,577	34,655,608	16,657,263	

(議案4)令和元年度 事業計画

1 連携・交流

(1)第6回世界遺産サミット(日光)の開催

世界遺産サミットin日光	
1 開催期間	令和元年11月21日(木)～22日(金)
2 会場	令和元年11月21日(木) 第1分科会：日光二荒山神社(客殿) 第2分科会：日光東照宮(客殿) 第3分科会：日光山輪王寺(紫雲閣) 令和元年11月22日(金) 世界遺産サミット会議：道の駅日光「日光街道ニコニコ本陣」
3 主催	日光市世界遺産サミット実行委員会
4 共催	観光庁、(公社)日本観光振興協会、(一社)「世界文化遺産」地域連携会議
5 後援	文化庁、環境省、林野庁、栃木県、栃木県教育委員会
6 内容	<11月21日(木)> エクスカーション(12時30分～14時30分) 鬼怒川方面周辺めぐり 分科会(15時30分～17時30分：詳細調整中) 第1分科会：世界遺産の保存継承 第2分科会：世界遺産の東日本連携・・・世界遺産を持つ東日本の首長を想定 第3分科会：世界遺産を活用したまちづくり・・・民間地域リーダーを想定 交流会(18時15分～19時45分) 会場：日光金谷ホテル(バンケットルーム) <11月22日(金)> エクスカーション(8時30分～11時30分) 二社一寺めぐり、まちあるき 世界遺産サミット会議(13時00分～17時00分) ○観光施策の最新情報のプレゼン 観光庁 ○事業発表 日光ユネスコ協会 ○基調講演 デービット・アトキンソン氏(日光市政策専門員) ○分科会発表 ○首長会議

(2)メーリングリストの継続

(3)総会・全体交流会(8月19日)

地域交流会等の開催

2 要望活動(8月19日)

時間	訪問先	場所
13:30-13:55	資料お届け 河村建夫 世界遺産議連顧問 自民党 二階幹事長 同 菅官房長官	衆議院第二会館 302 223 1113
14:00-14:20	世界遺産議連 福山哲郎副会長	参議院議員会館
14:40-14:55	資料お届け 国交省 藤田事務次官 同 森顧問	国交省
15:00-15:15	観光庁 村田茂樹 観光地域振興部長	観光庁
15:30-15:40	文化庁 中岡司次長	文科省東館 第1特別会議室

3 遺産ごとの課題解消

(1)石見銀山PT

JR名古屋・広島・博多駅で実施のデジタルサイネージにおける「西日本の世界遺産」
(石見銀山・原爆ドーム・厳島神社・萩・姫路城)連携広告(9月)

(2)紀伊山地の霊場と参詣道PT

- ①「紀伊山地の霊場と参詣道」HPの制作
- ②外国語ガイドブック・MAP等の増補(熊野古道・伊勢路)
- ③那智勝浦町・十津川村における外国表示設置

(3)斑鳩PT

- ①外国語資料の作成
- ②聖徳太子絵本(ガイドブック)の作成
- ③東京および斑鳩町における法隆寺管長講演会など
- ④法隆寺管長講演会(③+昨年度実施分)を12言語に翻訳

4 情報発信

- (1) HP (11言語) www.worldheritagejpn.com/
- (2) パンフレット (4言語: 各地の海外事業での相互配布用)
- (3) 各メディア、記者クラブなどへの対応

5 世界遺産リレー催事の実施

- (1) 概要



(2) 19 遺産別の催事 (令和元年 8・15 現在調整中) 概要

世界遺産名	ラインアップ内容 (場所)	実施時期	地 域 合意	残された課題
世界遺産 桜リレー	今帰仁—鹿児島 (原城跡) —姫路・京都 (吉野)—伊 豆の国・富士山—富岡・日 光—平泉	2020/1-5	○	
① 平泉	藤原まつり	2020/5	◎	
② 日光	世界遺産サミット	2019/11	◎	
③ 富岡	西蔵倉庫完成記念コンサ ート	2019/11	○	
④ 国立西洋 美術館	(東京オリ・パラ、P V に 伴うプロジェクション・マッピング 等)	2020/7-9	△	詳細未定
⑤ 富士山	山開き神事 (富士吉田・富 士宮) (五輪自転車競技 富士山一周)	2020/7	◎	山梨県側の調整
⑥ 白川郷・ 五箇山	五輪 1 月前、特別一斉放水	2020/6	◎	
⑦ 京都	世界遺産登録 25 周年記念 二条城まつり 2019	2019/秋	◎	
⑧ 奈良	なら燈花会	2020/7-8	○	名称要調整
⑨ 法隆寺	法隆寺秘宝展	2020/3-5	◎	法隆寺への挨拶
⑩ 百舌鳥古 市古墳群	世界遺産劇場	2019/11	△	開催日・出演ア ーティスト未定?
⑪ 紀伊山地	御燈祭 (神倉神社)	2020/2	◎	
⑫ 姫路城	姫路城ニューイヤーイベ ント (光の演出)	2019/12- 2020/1	◎	内容確定 5 月
⑬ 広島	原爆の日 灯籠流し	2020/8	○	商店街連合会 説明
⑭ 厳島神社	宮島海上花火大会	2020/8	◎	
⑮ 石見銀山	(西洋美術館でオリ・パラ 時に石見神楽?)	2020/8 ?	△	上野公園の動向 を待ち提案?
⑯ 明治日本	(登録 5 周年記念事業)	2020/4-	△	内容未定
⑰ 潜伏キリ シタン	サイレント・クリスマス i n 平戸	2019/12	◎	他の関連地域の 参加
⑱ 宗像	みあれ祭	2019/10	○	宗像大社承諾待
⑲ 琉球王国	登録 20 周年事業	2020/10	◎	

(3) 21 催事の分類 (令和元年 8・15 現在)

A 新規催事

日光	世界遺産サミット	2019/11
富岡	西蔵倉庫完成記念コンサート	2020/5?
国立西洋美術館	(東京オリ・パラ、P.V.に伴うプロモーション・マッチング等?)	2020/7-9
白川郷・五箇山	五輪 1 か月前、特別一斉放水	2020/6
姫路城	姫路城ニューイヤーイベント	2019/12-2020/1
明治日本	(世界遺産登録 5 周年事業)	2020/4-
琉球王国	世界遺産登録 20 周年事業	2020/10

B 新規事業 (伝統芸能)

石見銀山	(西洋美術館でオリ・パラ時に石見神楽?)	2020/8 ?
------	----------------------	----------

C 宗教行事 (春夏秋冬 1 か所ずつ)

宗像	みあれ祭	2019/10
紀伊山地	御燈祭 (神倉神社)	2020/2
法隆寺	法隆寺秘宝展	2020/3-5
富士山	山開き神事	2020/7

D 継続催事・既存祭事の活用

京都	世界遺産登録 25 周年記念 二条城まつり 2019	2019/11
平泉	藤原まつり	2020/5
奈良	なら燈火会	2020/7-8
百舌鳥古市	世界遺産劇場 IN 堺	2019/11
広島	原爆の日 灯籠流し	2020/8
厳島神社	宮島海上花火大会	2020/8
潜伏キリシタン	サイレント・クリスマス in 平戸	2019/12

E 全体事業 世界遺産・桜リレー (→参考資料)

世界遺産 桜リレー	今帰仁城跡—鹿兒島・(原城跡) 姫路・京都 (吉野)—伊豆の国—富士山・富岡・日光—平泉	2020/1-5
--------------	--	----------

(4) 世界遺産桜リレー (イメージ)

今帰仁グスク桜まつり 1・26—2・11 	仙巖園・尚古集成館(薩摩のひなまつり) 2月上旬—3月 	萩(ミドリヨシノ) 開花 3月下旬—4月上旬 
姫路城 夜桜会・観桜会 4・5—8 	二条城 桜まつり 3・21—4・14 	吉野 桜ライトアップ 4月上旬—下旬 
新倉山浅間公園 桜まつり 3・30—4・14 	韭山反射炉 桜ライトアップ +夜間開館 4・1—8 	富士河口湖 桜まつり 4・4—14 
富岡製糸場 夜桜ライトアップ 4・10頃 	日光桜回遊 4・5—26 	平泉 4月中旬—5・5(藤原まつり) 

※日程はいずれも2019年のもの

※今回は ①世界遺産そのものが舞台となっていること、②併設催事があること を条件に選定

（５）関係箇所との調整・情報収集

平泉：５月３日（藤原まつり視察）

日光：５月４日・７月９日（日光市ほか）

国立西洋美術館：５月７日（台東区）

富士山：６月１１日（静岡市長） ７月１０日（富士宮市・富士山山開き視察）

古都京都：８月２６日（京都市長） ４月１９日・６月２４日（京都市）

古都奈良：５月９日（奈良市）

法隆寺：４月１６日（斑鳩町） ４月２３日（法隆寺秘宝展視察） ５月２７日（法隆寺説明・斑鳩町）

紀伊山地の霊場と参詣道：７月１－３日（那智速玉大社・東紀州地域振興公社・那智勝浦町・田辺市・十津川村ほか）

姫路城：７月１１日（姫路市）

百舌鳥古市古墳群：５月９日（大阪府）、５月１７日・７月６日（堺市）

原爆ドーム：８月６日（灯籠流し視察） ８月２３日（広島市中区商店街連合会説明）

厳島神社：８月２４日（宮島水上花火視察）

石見銀山：６月１１日（大田市）

明治日本の産業革命遺産：６月２８日（中間市）、６月２９日（大牟田市・荒尾市視察）

宗像：６月２８日（宗像大社・宗像市）

潜伏キリシタン：６月２９日（南島原市視察）、８月５日（五島市視察）

琉球王国：７月１１日（沖縄県打ち合わせ）

文化庁：６月１２日・７月４日（日本博事務局）

観光庁：５月８日・６月１１日・７月２４日（観光資源課ほか）

（ご参考）日本博への申請概要（赤字：情報発信関係）

１）北から沖縄まで１９の世界文化遺産地域が一致団結し、オリ・パラ年の盛り上げに寄与したいと考えます。

外国人観光客の人気デスティネーション・ベスト２０のうち半数を占める世界文化遺産地域が連携すれば、地域活性化はもちろん、文化発信による国としてのブランディングやインバウンド強化、また文化芸術立国の基盤づくりなどに連なる、さまざまな事業が可能になります。

２）世界遺産は世界的に顕著な文化的特徴をもって登録されており、各国の文化的特質を顕著に表現します。しかし同時に、世界遺産自体はどの国にも存在してしまいます。そこで重要になるのは、それらにいかに有効なアクション（催事＋連携によるストーリー形成＋記録・広報）と日本ならではの提案を加えていくかです。

今回のプロジェクトでは「日本の魅力発信」のコアとして、世界遺産をもつ全19地域が「催事リレー」の体制を組み、催事記録をHP・映像・アートを用いたSNS広告などで情報発信することを考えています（記録映像等がオリ・パラ以降もわが国の魅力発信コンテンツとして長く活用可能なものになることは言うまでもありません）。

また、日本ならではの提案として「新幹線により、各世界遺産を便利に訪問できる」点をアピールしたいと考えます。

それにより、外国人観光客にとっての「ゴールデン・ルート」（東京ー関西）を、被災地である東北・中国・九州などにも拡大させていく可能性が一気に開けて行くからです。

3)日本のインバウンドが抱える最大の課題の1つは、それがまだ「東アジア特化型」のものに過ぎないという点です。

2018年の訪日外国人3100万人に対し、米国からはわずか150万人、欧州に至っては英・仏・独・スペイン四カ国を合計しても100万人に過ぎません。国としての欧米等に向けたアクションは明らかに不足しており、2020年はその解消に向けた千載一遇の機会です。欧米諸国は「日本文化」に関心を抱く層の割合が高く、やればやるだけの効果が見込めます。

4)世界遺産関連地域においては、こうした共同事業の実践がそのブランド価値を高め、地域間の連携をさらに強固にします。

目標は地域や催事への短期的入込観光客の増ではなく、世界遺産（地域）の価値を上げること、またノウハウや人材の育成・交流面での新しいステップを刻むことです。

また、世界遺産地域がこうした取り組みの先陣を切れば、日本が世界に発信すべき以外のテーマ（例：国立公園・日本食・祭・・・）についても今後、同種の取り組みが始まっていく可能性が生まれてきます。

現在調整中の世界遺産催事は21。うち2019年度は9で、新規事業として日光での世界遺産サミット（11月）、姫路城でのカウントダウン・イベント（12ー1月）。既存事業関係では世界遺産登録25周年記念・二条城まつり2019、百舌鳥古墳群における「世界遺産劇場」（11月）と平戸のサイレント・クリスマス（12月）。

四季に1つずつの宗教行事関係では宗像大社のみあれ祭（10月）と熊野速玉大社における御燈祭（2月）、また法隆寺秘宝展（救世観音ご開帳ほか）が3月より開催見込みです。加えて「日本の自然」をテーマにした全体事業として、1月の今帰仁城跡ー2月九州（鹿児島・島原の原城跡）と3月関西（姫路・京都・吉野）を経て、4月の富士山・富岡・日光、5月の平泉に至る「世界遺産桜リレー」があります。

以降も、2020年ゴールデンウィークには平泉の藤原まつり、夏には（例年秋の防災行事である）白川郷の一斉放水が時期を移して特別実施。富士山が五輪・自転車競技の舞台となるほか、奈良公園を中心とした夜間イベント、原爆ドーム周辺での灯籠流し、宮島の奉納花火大会などが実施され、沖縄開催が決まっている秋の「世界遺産サミット」で幕が閉じられるといったスケジュールを想定しています。

これらに伴い、①2019年度内事業としては9月までにラインアップの最終調整と、今回採択がなればできるだけ早期に②広報素材（HP・パンフレット・IT広告用映像）や共通事業としてのスタンプ整備。また、③外国人特派員倶楽部等での記者発表やその後の広報対応をおこない、秋以降には④各催事の映像資料作成（本年度は白川郷の放水行事と姫路城でのカウントダウンイベントを想定）。さらに2020年1月からは⑤欧州3カ国（英・仏・スペイン）でSNS広告を実験レベルでスタートさせたいと考えています。

なお、SNS広告やスタンプ等のデザイン統括として想定しているのは「赤い糸」で著名な奥下和彦氏です。奥下氏はテレビ朝日「報道ステーション」オープニング映像でお馴染みで、国際的には「TED2010」などにも登場経験を持つアーティスト。2019年度には実験的に、ロンドン・パリ・マドリッドの知識層のスマートフォンにこの「赤い糸」の「世界遺産リレー催事」広告を流し、キャッチ映像をクリックすれば10言語によるHPや各遺産の催事映像（四季に1か所ずつ日本博終了後も継続的に撮影）につながる、といったイメージを持っています

(議案5)令和元年度予算

1 収入の部(単位・円)

項目	令和元年度	前年度 予算額	前年度 決算額	備考
①市町村会費	1,370,000	1,150,000	1,110,000	納入遅れ8万
②事業収入	26,038,000	26,637,000	28,547,000	文化庁 「世界遺産活性化」事業
・紀伊山地 PT	(14,552,000)	(15,670,000)	(17,653,000)	
・石見銀山 PT	(2,469,000)	(3,002,000)	(3,002,000)	
・斑鳩 PT	(9,017,000)	(7,965,000)	(7,892,000)	
③交流会費	240,000	240,000	288,000	1 回開催(東京)
④寄付金	0	0	0	
⑤利息	0	0	31	
⑥繰越金	3,183,161	4,710,577	4,710,577	
収入計	30,831,161	32,737,577	34,655,608	

2 支出の部(単位・円)

項目	令和元年度 予算額	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	備考(収入の部①④ ⑤⑥以外に注釈)
1 要望活動費	200,000	200,000	147,524	冊子作成、ハイヤー代等
2 会議費	750,000	750,000	817,081	総会・交流会・PT 会議 等(交流会は収入の 部③に対応)
3 イベント費	200,000	200,000	311,172	世界遺産サミット等
4 広報費 ・HP ・その他	1,000,000 (500,000) (500,000)	2,000,000 (1,500,000) (500,000)	154,782 (7,642) (147,140)	HP は令和元年に外部 予算がつく可能性が あるため翻訳とパンフ レット関係のみ計上
5 事業推進費 ・紀伊山地 PT ・石見銀山 PT ・斑鳩 PT (その他)	26,138,000 (14,552,000) (2,469,000) (9,017,000) (100,000)	26,637,000 (15,670,000) (3,002,000) (7,965,000)	28,666,592 (17,653,000) (3,002,000) (7,892,000) (119,592)	収入の部②に対応 (国予算対応不能分)
6 調査研究費	20,000	20,000	19,600	入場料・書籍等
7 旅費交通費	750,000	550,000	751,640	
8 通信費	100,000	40,000	129,196	
9 消耗品費	100,000	20,000	298,032	事務機材ふくむ
10 事務雑費	20,000	150,000	176,828	H30 は社団登記関係
支出予算計	29,278,000	30,567,000	31,472,447	
次年度繰越金	1,553,161	2,170,577	3,183,161	
総計	30,831,161	32,737,577	34,655,608	

ご参考：市町村の入会状況と会費の現状

世界遺産名	市町村名および負担金額(万円)	合計額(万円)
法隆寺	斑鳩町4	4
姫路城	姫路市5	5
古都京都	京都市10、大津市3、宇治市3	16
白川郷・五箇山	白川村3、南砺市4	7
原爆ドーム	広島市5	5
厳島神社	廿日市市5	5
古都奈良	奈良市5	5
日光の社寺	日光市5	5
琉球王朝のグスク及び関連遺産	那覇市2、南城市2、うるま市2、中城村1、北中城村1	10
	今帰仁村1、読谷村1	
紀伊山地の霊場と参詣道	東紀州地域振興公社2、田辺市2、那智勝浦町1	9
	かつらぎ町1、白浜町1、吉野町1、天川村1	
石見銀山	大田市5	5
平泉	平泉町4	4
富士山	富士吉田市2、富士河口湖町1、山中湖村1	16
	静岡市2、富士宮市2、裾野市2、御殿場市2	
	富士市2、小山町1、身延町1	
富岡製糸場と絹産業遺産群	富岡市2、藤岡市1、伊勢崎市1、下仁田町1	5
明治日本の産業革命遺産	長崎市2、鹿児島市2、佐賀市2、釜石市1、	11
	伊豆の国市1、萩市1、宇城市1、中間市1	
西洋美術館	東京都台東区4	4
宗像・沖ノ島	宗像市3・75、福津市1・25	5
潜伏キリシタン (希望額)	平戸市2、五島市2、佐世保市2、東島原市2 天草市2	10
百舌鳥古市古墳群	(堺市、藤井寺市、羽曳野市) ※令和元年度は免除	0

世界文化遺産数 19遺産

市町村数 57市町村(東紀州地域振興公社ふくむ)

※百舌鳥古市から3市加われば60

※未入会市町村…富士山、紀伊山地、明治日本、潜伏キリシタンで計10程度

上記合計額 131万円

※会費制への移行時に1遺産5万円、1市町村最低1万で計100万程度を目標に減免基準策定

(一社)「世界文化遺産」地域連携会議(令和2年1月31日現在)

顧問 松浦晃一郎(元・ユネスコ事務局長)

代表理事 門川大作(京都市長)

副代表理事 松井一實(広島市長) 仲川げん(奈良市長) 清元秀泰(姫路市長)

大嶋一生(日光市長) 中西和夫(斑鳩町長)

理事 青木幸保(平泉町長)

榎本義法(富岡市長) 五十嵐清隆(伊勢崎市長) 新井雅博(藤岡市長)

原秀男(下仁田町長)

服部征夫(東京都台東区長)

堀内茂(富士吉田市長) 渡辺喜久男(富士河口湖町長) 望月幹也(身延町長)

高村文教(山中湖村長) 田辺信宏(静岡市長) 須藤秀忠(富士宮市長)

高村謙二(裾野市長) 若林洋平(御殿場市長)

小長井義正(富士市長) 池谷晴一(小山町長)

成原茂(白川村長) 田中幹夫(南砺市長)

佐藤健司(大津市長) 山本正(宇治市長)

加藤千速(東紀州地域振興公社理事長・尾鷲市長) 北岡篤(吉野町長)

車谷重高(天川村長) 真砂充敏(田辺市長) 堀順一郎(那智勝浦町長)

井本泰造(かつらぎ町長) 井洞誠(白浜町長)

永藤英機(堺市長) 岡田一樹(藤井寺市長)

眞野勝弘(廿日市市長)

楫野弘和(大田市長)

野田武則(釜石市長) 小野登志子(伊豆の国市長) 藤道健二(萩市長)

福田健次(中間市長) 秀島敏行(佐賀市長) 田上富久(長崎市長) 守田憲史(宇城市長)

森博幸(鹿児島市長)

伊豆美沙子(宗像市長) 原崎智仁(福津市長)

城間幹子(那覇市長) 島袋俊夫(うるま市長) 瑞慶覧長敏(南城市長)

喜屋武治樹(今帰仁村長) 浜田京介(中城村長) 新垣邦男(北中城村長)

石嶺傳實(読谷村長)

有川雄二郎(元・SAP代表) △

井戸智樹(一社・地域連携研究所代表理事) △

大社充(DMO推進機構代表理事)

熊倉浩靖(高崎商科大学特任教授・群馬テレビアドバイザー) △

島川崇(東洋大学国際地域学部国際観光学科教授) △

後藤治(工学院大学理事長・総合研究所教授)

花岡拓郎(海事歴史科学館<大和ミュージアム>学芸員) △

藤本貴也(全国街道交流会議代表幹事)

毛利和雄(歴史ジャーナリスト)(△:お世話役)

社 員

朝廣佳子（読売奈良ライフ代表）、阿部尚久（姫路商工会議所産業振興部長）、安藤周治（ひろしまNPOセンター代表・NPOひろしまね理事長）、安藤登（NPO世界遺産アカデミー常務理事）、井植美奈子（井植インターナショナル代表：京都）、石丸美穂子（元・和歌山県上富田町観光コンシェルジュ）、糸永正之（アラスカ大フェアバンクス校特別顧問）、乾昌弘（明新社社長）、井上浩司（関西観光本部・JR西日本）、岩垣保（テレビマンユニオン 世界ふしぎ発見プロデューサー）

植木孝（ダイヤモンド・ビッグ社 メディア・マーケティング事業本部 副本部長、インバウンドメディア担当）、上野誠（奈良大学教授）、上村多恵子（京南倉庫社長）、内山裕紀子（くまの体験企画代表）、大島直行（伊達市噴火湾文化研究所長・札幌医科大学客員教授）、大國晴雄（前・大田市教育長）、大田原功（今帰仁グスクを学ぶ会理事長）、大野泰正（財・ラリーニッポン代表理事：岐阜）、大山耕介（月刊「歴史街道」編集長）、岡井健（NPO日光門前まちづくり理事長）

緒方修（NPOアジアクラブ理事長・東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センター長：沖縄）、小野登志子（富士宮市観光協会会長）、小野寺郁夫（小野寺設計室代表：平泉）、片上敏喜（日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科専任講師）、我如古則子（うるま市史跡ガイドの会会長）、上村大平（斑鳩商工会事務局長）、川崎阿久里（世界文化社第五編集局企画部）、木谷俊樹（元・読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」プロデューサー）、桐野耕一（長崎コンプラドール代表）、久遠裕子（株式会社ユニバーサルワーカーズ取締役、軍艦島コンシェルジュ・統括マネージャー、軍艦島デジタルミュージアム・プロデューサー）

久保美智代（旅する世界遺産研究家、アナウンサー・キャスター）、熊崎俊介（パム WEB マーケティング事業部 ディレクター）、小池秀明（NPO日光門前まちづくり事務局長）、小泉和子（フォーリン・プレスセンター広報戦略課長）、小松勇二郎（和歌山県観光ガイド専門員＜紀州語り部＞）、小六克介（世界遺産クラブ代表）、齊藤修（京都新聞ホールディングス顧問）、佐滝剛弘（京都光華女子大学キャリア形成学部教授・NPO産業観光学習館専務理事＝群馬）、沢田伸（ひょうご heritage 機構代表世話人）、澤田利彦（松蔭大学観光文化学部長）

塩見正成（公益財団法人大阪観光局マーケティング事業部長・JTB）、柴田聡（朝日放送報道局）、城之内ミサ（音楽家・ユネスコ平和芸術家）、白鳥哲也（まちづくりNPO沖縄イケメン連）、須藤元（ジェイキャスト顧問）、高橋一夫（近畿大教授）、高橋史郎（早稲田大学国際教養学部事務長）、高橋伸幸（ベストセラーズ「一個人」「歴史人」編集長）、竹田亨（日本航空地域活性化推進部長）、多田稔子（田辺市熊野ツーリズムビューロー会長）

多田みのり（歴史と旅のライター・奈良市観光使）、辰巳裕（NPO奈良好き人のつどい理事長）、田中恭一（社会福祉法人・中央共同募金会シニアアドバイザー）、田中俊徳（東京大学新領域創成科学研究課准教授）、谷博子（元JNTOソウル事務所長）、谷上嘉一（熊野川体感塾塾長）、玉城常邦（琉球新報社元・東京支社長）、長南哲生（日光世界遺産の会）、土居好江（一般社団法人京すずめ文化観光研究所理事長）、富井義夫（世界遺産写真家）

富岡哲也（交通新聞社情報事業部「トレたび」編集長）、富澤美津男（近畿日本ツーリスト 地域誘客事業部課長）、永井恵一（東洋大学国際観光学部産学連携人材育成プログラム開発チーム研究員）、永島宣彦（京都新聞COM社長）、中野秀俊（旅行読売営業企画部）、中村宇道（実業之日本社ブルーガイド編集部）、中村俊郎（中村ブレイス代表取締役会長：石見）、中村直美（交通新聞社広告事業部長、前「旅の手帖」編集長）、中山栄一郎（歴史と出会えるまちづくり船場城西の会：姫路）、中山禎輝（旅のエッセイスト・元平城遷都1300年事業協会）

滑田教夫（京都旅企画代表・京都大学文学部非常勤講師・京都大学大学院文学研究科非常勤講師）、野添ちかこ（ライター）、野々村邦夫（日本地図センター理事長）、花井正光（NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会会長、元琉球大学教授）、羽生冬佳（立教大学准教授）、福井善朗（山陰インバウンド機構代表理事）、星幸男（ANA総研執行役員）、三島敏樹（白川郷・田島家養蚕展示館館長）、水田雅博（JR西日本営業本部観光開発課長）、三石学（熊野旅の文化企画代表）

皆川広一（神戸新聞事業社）、宮澤光（NPO世界遺産アカデミー主任研究員）、宮本早織（温泉研究家）、宗田好史（京都府大教授）、村上裕道（前・兵庫県文化財室長）、村田武一郎（帝塚山大教授）、矢野純一（フォーリン・プレスセンター 取材協力課長）、山岡孝典（ホテルグランヴィア大阪）、山上直子（サンケイ新聞文化部）、山内道美（今帰仁グスクを学ぶ会事務局長）

山本義史（吉野山旅館組合長）、吉新一郎（日光青年会議所理事長）、吉永憲（共同ピーアール）、和上豊子（石見銀山ガイドの会・前代表）、渡邊智彦（一般社団法人京すずめ文化観光研究所）

監 事

寺田昭一（PHP公共事業部コンサルティング事業部 シニア・コンサルタント）